



2024年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2023年7月14日

上場会社名 ベースフード株式会社 上場取引所 東
コード番号 2936 URL <https://basefood.co.jp/corporate>
代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 橋本 舜
問合せ先責任者 (役職名) コーポレート部 (氏名) 鈴木 譲 TEL 03 (6416) 8905
四半期報告書提出予定日 2023年7月14日 配当支払開始予定日 -
四半期決算補足説明資料作成の有無：有
四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年2月期第1四半期の業績 (2023年3月1日～2023年5月31日)

(1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年2月期第1四半期	3,739	—	△380	—	△381	—	△382	—
2023年2月期第1四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年2月期第1四半期	△7.72	—
2023年2月期第1四半期	—	—

- (注) 1. 当社は、2023年2月期第1四半期については四半期財務諸表を作成していないため、2023年2月期第1四半期の数値及び対前年同四半期増減率並びに2024年2月期第1四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。
2. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため、記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円	%	百万円	%	%
2024年2月期第1四半期	3,725	—	1,261	—	33.9
2023年2月期	3,609	—	1,638	—	45.4

(参考) 自己資本 2024年2月期第1四半期 1,261百万円 2023年2月期 1,638百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年2月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2024年2月期	—	—	—	—	—
2024年2月期 (予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年2月期の業績予想 (2023年3月1日～2024年2月29日)

(%表示は、通期は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	16,078	63.1	△804	—	△825	—	△829	—	△16.75

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(注) 詳細は、添付資料P. 6「2. 四半期財務諸表及び主な注記(3) 四半期財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年2月期1Q	51,104,000株	2023年2月期	50,869,700株
② 期末自己株式数	2024年2月期1Q	1,358,000株	2023年2月期	1,358,000株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2024年2月期1Q	49,554,994株	2023年2月期1Q	—株

(注) 当社は、2023年2月期第1四半期については四半期財務諸表を作成していないため、2023年2月期第1四半期の期中平均株式数(四半期累計)については記載しておりません。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
第1四半期累計期間	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(会計方針の変更)	6
(セグメント情報等)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社は、「主食をイノベーションし、健康をあたりまえに。」というミッションを掲げ、「栄養のインフラ」としてのBASE FOODを目指しております。

ミッションの実現に向け、研究開発活動を通じて完全栄養（注1）の主食を中心としたBASE FOODシリーズの開発および改善を行い、それらを主に3つのチャネル（卸などを介さず顧客に直接販売を行う「自社EC」、他社ECプラットフォームでの販売を行う「他社EC」、コンビニエンスストアやドラッグストアなどで販売を行う「卸販売」）で販売を行っており、積極的な研究開発活動を通じて美味しい商品の追求、新商品のリリースを行うことで顧客層の拡大、継続率の向上を通じ成長を遂げてまいります。

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症に伴う行動制限が徐々に緩和され、景気は回復の兆しがみられました。しかしながら、東欧情勢などの地政学的リスク、金融資本市場の変動などの影響もあり、依然として経済は先行き不透明な状況が続いております。

このような環境の下、昨年度より当社も原材料高騰等の影響を受けてまいりましたが、5月に売上総利益率の改善のために商品価格の改定を実施しました。

また、当社は積極的な研究開発活動を継続しており、商品開発の速度向上と研究開発領域の深化を目的に前年度強化・増員したR&D体制により新商品の開発および商品改善を積極的に引き続き進めております。この成果として、2023年3月にBASE BREAD(プレーン、メープル)のリニューアル、2023年4月にBASE BREAD(シナモン)のリニューアルの実施、2023年5月にBASE BREAD(ミニ食パン・レーズン)の新商品発売を行いました。R&D体制の強化により、既存商品の美味しさ向上に加え新商品発売の商品ラインナップの拡充を進めております。

自社ECチャネルでは、美味しさが向上したことによる口コミの醸成、リテールチャネル（卸販売）の店舗拡大による更なる認知と体験の拡大が進み、その機会を捉え顧客獲得のためのWeb広告を実施したことにより自社ECのサブスクリプション会員獲得が進みました。また今までの「いちねんポイントパック」に加え「ライトプラン」のサービスを提供開始するなど継続率向上の施策により、サブスクリプション会員数は20.1万人（前事業年度末は、16.3万人）と拡大いたしました。

なお、サブスクリプション会員数の推移は以下の通りとなっております。

<サブスクリプション会員数の推移>

	2022年2月期	2023年2月期	2024年2月期 第1四半期
サブスクリプション会員数（万人）	10.3	16.3	20.1

海外展開においては、香港でのECモール（HKTVmall）に加え、2023年5月に中国最大の越境ECプラットフォーム「Tmall Global」での販売を開始しており、国内外での販売数量は順調に推移しております。

リテールチャネル（卸販売）においては、2023年3月よりローソンでの展開店舗先を中部・中四国・九州・沖縄地区も追加いたしました。コンビニエンスストアやドラッグストアなどオフライン店舗での販売店舗は順調に推移しており、展開実店舗数は46,385店舗（前事業年度末は、34,795店舗）へと拡大いたしました。

なお、店舗数の推移は以下の通りとなっております。

<店舗数の推移>

	2022年2月期	2023年2月期	2024年2月期 第1四半期
展開実店舗数（店舗）	9,143	34,795	46,385

以上の結果、当第1四半期累計期間の売上高は3,739,082千円、営業損失は380,135千円、経常損失は381,004千円、四半期純損失は382,685千円となりました。

なお、当社は、完全栄養食事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載をしておりません。

注1：1食（BASE PASTAは1袋、BASE BREADは2袋、BASE Cookiesは4袋、BASE FOOD Deliは1袋）で、栄養素等表示基準値に基づき、他の食事で過剰摂取が懸念される脂質・飽和脂肪酸・炭水化物・ナトリウム・熱量を除いたすべての栄養素で、1日分の基準値の1/3以上を含む

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期会計期間末における総資産は3,725,386千円となり、前事業年度末に比べ115,609千円増加いたしました。これは主に、現金及び預金が170,485千円減少した一方で、事業拡大に伴う売掛金の増加247,742千円に加え、新たに倉庫を開設し設備投資を行ったことにより有形固定資産が20,015千円増加したことによるものであります。

(負債)

当第1四半期会計期間末における負債は2,463,789千円となり、前事業年度末に比べ492,834千円増加いたしました。これは主に、事業拡大に伴い買掛金が228,715千円、未払金が245,089千円増加したことによるものであります。

(純資産)

当第1四半期会計期間末における純資産は1,261,597千円となり、前事業年度末に比べ377,225千円減少いたしました。これは主に、四半期純損失の計上により利益剰余金が382,685千円減少したことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年4月14日に「2023年2月期 決算短信」で発表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年2月28日)	当第1四半期会計期間 (2023年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,296,608	2,126,122
売掛金	561,749	809,492
商品	122,933	144,945
原材料及び貯蔵品	91,043	31,174
未収入金	96,273	95,852
前払費用	58,667	87,390
その他	66,040	77,053
流動資産合計	3,293,315	3,372,031
固定資産		
有形固定資産	79,134	99,150
無形固定資産	1,270	1,665
投資その他の資産	236,057	252,539
固定資産合計	316,462	353,355
資産合計	3,609,777	3,725,386
負債の部		
流動負債		
買掛金	456,882	685,597
短期借入金	500,000	500,000
1年内返済予定の長期借入金	30,000	30,000
未払金	557,780	802,869
未払費用	137,505	130,006
未払法人税等	22,040	5,777
預り金	37,109	43,649
ポイント引当金	11,957	9,378
契約負債	192,856	226,674
その他	1,000	5,380
流動負債合計	1,947,131	2,439,332
固定負債		
資産除去債務	23,822	24,456
固定負債合計	23,822	24,456
負債合計	1,970,954	2,463,789
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,102,100	1,104,831
資本剰余金	2,040,412	2,043,142
利益剰余金	△1,476,505	△1,859,191
自己株式	△27,567	△27,567
株主資本合計	1,638,439	1,261,214
新株予約権	382	382
純資産合計	1,638,822	1,261,597
負債純資産合計	3,609,777	3,725,386

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位：千円)

	当第1四半期累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年5月31日)
売上高	3,739,082
売上原価	1,899,542
売上総利益	1,839,539
販売費及び一般管理費	2,219,675
営業損失(△)	△380,135
営業外収益	
受取補填金	779
その他	45
営業外収益合計	825
営業外費用	
支払利息	1,132
支払保証料	342
その他	217
営業外費用合計	1,693
経常損失(△)	△381,004
税引前四半期純損失(△)	△381,004
法人税、住民税及び事業税	1,681
法人税等合計	1,681
四半期純損失(△)	△382,685

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を当第1四半期会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしております。なお、四半期財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当第1四半期累計期間(自2023年3月1日 至 2023年5月31日)

当社は、完全栄養食事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。